



大団円

～校長室より～

子どもたちの学習を支える
～家庭では保護者の皆様です～

久玉小学校では、教科等の研究授業と研究会を実施し、「学習を通じて自分の思いや考えをまとめ、的確に伝えることができる」「久玉っ子の育成をめざしています。思いの発露が、しっかりと根拠のある発言ができる」とともに、友だちの考えを聞いてさらに自分の考えを深めることが大切です。そのためには、授業の中で隣同士や班の友だちとの対話や学級全体で考え等の交流が充実することが求められます。

一般的に、教室で習っただけの知識は半年後ぐらいには5%しか覚えていないそうですが、実際にやる・実験する・成果を確認する・それを人に教える、というところを行うと90%は記憶に残るそうです。

『教室の窓』島田氏の文章から

私たち教師は、一方向的に教えるだけでなく、子ども一人一人が学ぶことに興味を持ち意欲的に取り組むことができるように「支える」役割を担います。島田氏の文章にあるように、子どもの記憶に残る授業の進め方に努めています。ご家庭では、

○どんな学習をしているかを聞いてあげてください
○学校で学習したことを練習するよう声をかけてください
○音読を聞いたり、静かに本を読む時間をつくってあげてください
○時間割や準備物の用意ができているかおたずねください

ご家庭での「支え」がとても大切です。久玉っ子一人一人が、きちんと「学ぶ」ことと向き合っていけるよう、よろしくお願ひします。

今日は本田校長先生が教員になって13324日目
そして、平成28年3月31日は13513日目

くたまがみついったあっ!

久玉っ子の日記から、保護者の皆様のおたよりから、久玉川の「いま」を紹介します。今回は学校開放デーより27通も書いていただきました。感謝です!

「いつもお世話になります。3人お世話になっているので、通常の授業参観だと45分間で、限られた時間では見ることができないので、今日じっくり一人一人見れてよかったです。」
「さすが6年生! 1年1年成長していく姿がしっかりと伝わる算数の授業でした。発表する姿勢、聞く姿勢、返答する声、素敵でした。落ち着いた姿勢で取り組む6年生の姿、立派でした。」
「目標を明確にされていてよかった。先生方の取組もいろいろ工夫をされている様子が伝わりました。」
「私が来ているので、ノートを書いたり、おとなしくしているようにでした。このような機会があればできるだけ出席したいと思いました。」
「算数の授業を観させていただき、教え方をみて、家庭学習の時、子どもに教えるのに参考にしたい。たまに集中できずに落ち着かない様子も見られ、子どもが集中して授業に向かえるように家庭での生活面(就寝時間)を考えることが大切だと思いました。」

認知症サポーター養成講座

何と16名の方が来てくださって、細やかな指導をして下さいました。

たくさんの方が学校に来てくださって久玉小のために、久玉小の子どもたちのために、いろいろな体験をさせていただくことは、とても大きな成果が生まれます。久玉小にもあります。学習の成果は大きく向上します。

先週のひかりチャレンジ教室に続き、17日(木)は、認知症サポーター養成講座でした。対象は5、6年生です。なんと16名の方が来て下さいました。読み聞かせやスライド、話し合いやグループ発表等を織り交ぜて、たくさんの方を教えていただきました。本当にありがとうございました。

子どもたちもよくがんばりました。まちで不安そうな高齢の方を見かけた

「頭から否定せずにまず受け止める」
「間違っただけをしても責めずにとっちらいかに一緒に考える」
「まずあいさつをして、名前を聞いて、どうしたいか尋ねたり、お父さん、お母さんに相談したりする」
「うすですか? こんなすばらしい体験ができました! みなさまありがとうございました!」

虫追いどん講座

18日(金)、「3年生教室」に虫追いどんの講話に3名の方が来て下さいました。

小田区長さんが、虫追いどんの歴史について詳しくお話をしてくださいました。

「私は内原ですが、6年生から久玉小に来ました。歩いて通いましたが、遅刻も欠席もしませんでした。中学、高校を卒業して、東京に行きました。東京に行きたかった。警察官になるためです。仕事を終えて、天草に戻って来ました。帰って来て何をしようかな、と思っていたときに、この虫追いどんに出会いました。虫追いどんとは、もとは「虫追い殿」でした。何でも準備が大切、準備がきちんとしていなければいけません。」

最後に聴かせてくれた歌も心に残っています。次はステップアップに向けて家庭からのサポートの応援をお願いします。

生活科野菜植え

地域の方2名が来て下さいました。



学校開放デー

計46名の方が来て下さいました



紙面の都合上「誰が言った言葉でしょう」はお休みです。けつて、ネタが尽きたわけではありません。ホームページならカラーで見ることが出来ます! URLは、<http://es.higo.ed.jp/kutamaes/>

ともに

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに

平成27年9月24日
第19号

天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長 本田勝則

内の原地区虫追いどんのお話をしに、3名の方に来ていただきました。

18日(金)、「3年生教室」に虫追いどんの講話に3名の方が来て下さいました。

小田区長さんが、虫追いどんの歴史について詳しくお話をしてくださいました。

「私は内原ですが、6年生から久玉小に来ました。歩いて通いましたが、遅刻も欠席もしませんでした。中学、高校を卒業して、東京に行きました。東京に行きたかった。警察官になるためです。仕事を終えて、天草に戻って来ました。帰って来て何をしようかな、と思っていたときに、この虫追いどんに出会いました。虫追いどんとは、もとは「虫追い殿」でした。何でも準備が大切、準備がきちんとしていなければいけません。」

最後に聴かせてくれた歌も心に残っています。次はステップアップに向けて家庭からのサポートの応援をお願いします。

18日(金)、「3年生教室」で虫追いどんの講話が、あついている時間と同じときに、1年生は地域の2名と一緒に野菜を植えました。しっかりとお話を聞いて、植えることができました。大きな野菜がたくさん実って収穫祭ができることを目指して、毎日水がけ、お世話をがんばりました。

「一学期参観週間に、1週間46人の方に来ていただいたこと喜んでいたら、15日火曜日の一日で46名の方に来ていただきました。本当にありがとうございます。子どもたちは見られるという経験ができました。他者意識が育ちます。」

また、参観後に書いていただいたアンケートも一学期8通だったのが今27通もいただきました。ありがとうございます。意見をたくさんいただきました。早速まとめて全職員で読みました。元気が出ました。これからがんばっていきます!

10月12日にも学校開放デーを予定しています。また来てくださったらうれしいです。

先週より職員から子どもたちに向けて、壁新聞「久玉ニコニコ元気玉」を発行してします。これは各担当から子どもたちへ向けてのメッセージです。不定期発行です。教室掲示しますが、配布はしません。ホームページの方から見られるようにしますので閲覧ください。子どもたちにもがんばってほしいことなどをお知らせします。